

やまゆりニュース

「やまゆりニュース」第27号 発行日：平成31年2月1日
発行元 認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター
〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-5
TEL. 044-951-6321 FAX. 044-951-6467
発行人：植木昌昭 編集人：佐々木直子

川崎市麻生区市民活動支援施設 麻生市民交流館やまゆり



昨年12月9日に開催された川崎全市のシンポジウムには麻生区からも12名が参加した



「希望のシナリオ」～これからの地域づくりを考える～ 「これからの」コミュニティ施策の基本的な考え方（素案）」が発表されました

この川崎市の素案は、「変わりつつある川崎のまちのこれまでと今、そしてこれからを見据え、10年後のあるべきコミュニティの姿を共有し、取組を進めていこう」とするものです。

「さまざまな個人や団体会い、それぞれの思いを共有・共感することで生まれる相互作用により、これまででない活動や予期せぬ価値を創出すること。」が実現できればと【市民創発】という考え方が発表されました。

◆12月9日シンポジウムにおける麻生区参加者の意見

シンポジウムでは福田市長から、これにかける思いを説明されたあと、各区に分かれ「希望のシナリオ」につき意見交換がされました。麻生区からは12名が参加しました。

主な意見としては ①6期で終了した区民会議の今後について ②地域で多様性のある中で何を表に発信していくのか、誰がどう整理してマネージメントしていくのか

③施策の流れで縦割りになっていたコミュニティに横串をさすために、今後、組織論にこだわらず、横で話し合うことが必要ではないかなど、さまざまな意見が出てきました。

◆これを基に、麻生区として

麻生区役所では、これからの地域づくりに向けて、施策を進めるうえで、羅針盤となる「これからのコミュニティ施策の基本的考え方（素案）」について、このシンポジウムや8月のワークショップなどの機会を通じて、区内で活動されている市民の皆さんから

意見をお聞きしているところで、次年度に向けて、地域の活動を支えていくための基盤づくりなどの今後の麻生区のコミュニティ施策について検討を進めているとことです。

◆「麻生市民交流館やまゆり」として

麻生区の市民活動において中核施設として位置づけられている同館だけに、麻生区の「希望のシナリオ」の作成にあたっては、一役を担うことが期待されています。

この期待に対応するため、管理運営している「あさお市民活動サポートセンター」では「希望のシナリオ・プロジェクト」を立ち上げる準備を進めており、麻生区で活動する600を超える利用登録団体の「知恵と夢」を実現できればと考えています。



理事長 植木昌昭

目次

A あさおの昔

江戸でも珍重された

「黒川炭」

S 知っていますか？

「ミ」を無くして、

みんなの街を清潔に！

A アミューズメント

世界とつながろう

多文化フェスタ2019

O お役立ち情報

冬の星空観察

川崎天文同好会

●やまゆりからのお知らせ

第10回区民講師公開講座

川崎のコミュニティの未来を拓くプロジェクト
川崎市
2018 12/9 (日) 13:30-17:00
会場：麻生市民交流館やまゆり
参加費：500円
申し込み：11月30日(日)まで
申し込み先：あさお市民活動サポートセンター
TEL: 044-951-6321 FAX: 044-951-6467
申し込み先：あさお市民活動サポートセンター
〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-5

川崎全市シンポジウムのフライヤー



炭焼き窯。これは「早野聖地公園里山ボランティア」が、経験者の指導を受けて同公園内につくったもの。毎冬、これで炭を焼いている

江戸でも珍重された「黒川炭」

その昔、麻生の地では、冬になると、あちこちの山から幾筋もの煙が立った。炭焼きである。ほとんど住宅地となった今では想像もつかないが、長い歴史を持つこの地での炭焼きは、さほど昔とはいえない昭和の中ごろまで続いていたのだ。

黒川村で炭焼きがはじまったのは江戸中期とされる。クヌギやナラを材料とした炭は上質とされ、江戸市中で「黒川炭」の名が高まった。その後は周辺の村々でも炭の生産がはじまり、江戸や府中へと出荷されるようになっていく。明治期以降も、炭焼きは養蚕と並ぶ大事な収入源として盛んに行われた。黒川炭は郷土が誇る名産品だったのである。

昭和になると、生産はしだいに少なくなっていく。それで昭和20年代から30年代に入るところまでではそれなりの量が焼かれ、出荷もされていたようだ。黒川で年配の人々に聞いてみると「子どものころはまだ煙が立っていた」

「学校から帰ると作業の手伝いをした」などの思い出話が出てくる。

栗木台で手広く農業を営む飯草康男さんは、小学生のころに祖父が炭焼きをしていたのを覚えている。昭和30年代前半のことだ。

「三つの山に窯があつて、出荷もしてましたね。木を切つてリヤカーで運び、窯に二段に積んで焼いていました。煙の色やにおいで判断して火を止め、煙突をふさぐんです。窯出しも見てましたけど、熱いので、濡らした手ぬぐいをかぶつて入つてましたよ」

このあたりで麻生の炭焼きはほぼ幕を閉じる。飯草家でも炭を焼くことはなくなつたが、康男さんが18歳だった昭和43年に、ふと思ひ立った父と二人で、窯を借りて一度だけ焼いたという。木の伐り出しから窯出しまで、すべての工程を親子でやり遂げた貴重な体験。その時の炭はまだ残っていて、土地の名産の名残をいまに伝えている。

取材・文 区民記者 佐藤 次郎

参考文献 「くろかわ はるひ野 開発と地域の記録」(はるひ野開発と地域の記録編集委員会)

S 知っていますか？

一般参加型の清掃活動

グリーンバード新百合ヶ丘

活動開始：2016年3月
活動日：第3土曜が基本(変更の場合はHPで告知)
集合場所：南口 9時
参加人数：20名程度
清掃場所：駅前周辺の歩道
<http://www.greenbird.jp/team/shinyurigaoka>



子どもと一緒にゴミ拾い
グリーンバード新百合ヶ丘

2018年12月14日のNHKニュース「おはよう日本」によると、インド北東部のマウリノン村はアジアで最も清潔な村と称され、毎週土曜に村人全員で掃除を行う。
新百合ヶ丘にも駅前周辺を清掃し清潔に保つ活動が続いている団体があり、参加者の努力により駅前周辺が綺麗に保たれていると感じる。



こんなにゴミがありました
ポイ捨て防止キャンペーン

路上喫煙防止など統一キャンペーン

主催：区役所危機管理担当
活動日：第1土曜、30分
集合場所：南口 8時20分
参加人数：15名程度
清掃場所：駅前周回歩道(ペDESTリアンデッキ)

いずれの団体も街の美化に熱心で、「グリーンバード」と「路上喫煙防止など統一キャンペーン」は一般市民参加型の活動だ。まずは活動日にかけて街を清潔にしてみよう。

取材・文 区民記者 中島

企業・自治会が行っている清掃活動

新百合ヶ丘ガーデンブレイス自治会 「庭園を維持する会」

活動開始：2006年
活動日：年5~6回、日曜、1時間程度
参加人数：10名程度
清掃場所：スポーツセンター手前からイオン駐車場に通じる歩道と上麻生公園

横浜トヨペット

活動開始：2018年6月
活動日：隔週金曜、1時間程度
参加人数：37名
(業務に都合がつく者)
清掃場所：店舗周辺の歩道と階段



植木の陰まで見逃しません
庭園を維持する会



落ち葉を残さずはき集め
横浜トヨペット

ゴミを無くして、みんなの街を清潔に！



アミューズメント

世界とつながろう

多文化フェスタ2019

3月2日(土)、麻生市民館で多文化フェスタ2019が開催される。

日本人と外国人市民が共に、各国のお茶とお菓子を味わって、踊りや音楽演奏を楽しむもと、麻生区の「麻生区多文化フェスタ2019企画運営メンバー募集」に応募して結成された麻生区多文化共生推進事業実行委員会(委員長岡倉進さん)が企画した。メンバーは男性2名、女性7名の計9名。

これまでは、区から委託を受けた市民活動団体「多文化共生ネットワークTeamあさお」が、国際理解講座、ワークショップ、交流会、外国人トーク、フェスタなどを年数回、開催してきたが、今回はフェスタ1本にしぼり「交流」に工夫を凝らしている。

「交流の先に共生があります。出会って、知り合って、楽しい交流ができるフェスタをぜひ、成功させたい!」と、岡倉さんとメンバーは抱負と期待を熱く語った。

その工夫のひとつが、カフェとステージを同

じ会場で同時進行させ、お茶を味わい語りながら、音楽や踊りを鑑賞し楽しめること。ステージやカフェ提供は外国人市民が主役だが、その人たちも会場で参加者と語り、交流を深める。

麻生区には、2639人の外国人が暮らしている。中国人が一番多く、韓国、ベトナム、フィリピン、米国の順で、国籍は74カ国にのぼる。(データは2018年11月末時点)

麻生区は住みやすい町なのだろうか。「文化の違いで生活しづらいというよりも、地域に馴染んでいる人が多いようだ」と、記者も耳にするが、それでも外国人市民と日本人のオープンな交流の場は少ない。

「フェスタの参加者目標は300人。会場が溢れんばかりに盛り上がりたてほしい。皆さん、ぜひ参加してください」と、実行委員会は参加を呼び掛けている。

取材・文 区民記者 石崎 純也

■麻生区多文化フェスタ2019
日時：2019年3月2日(土)

10～15時

場所：麻生市民館大会議室
入場 無料



「過去のフェスタ風景」
インターナショナル・フェスタ「fromあさお」～市民と地域外国人の交流会～
(各国の音楽と踊り＆国の紹介ブース)

お役立ち情報

冬の星空観察

冬の夕暮れは早い。5時を過ぎるとあつという間に暗くなる長沢浄水場。広場の星空観察会場を探す。暗闇の迫るなか、大砲ごときを囲み人影。「星を見てみませんか?」気さくな女性の声がかかる。闇に目が慣れると空に向けて大きな望遠鏡。直径25cm、長さ1.2mもあるニュートン式反射望遠鏡、ドブソニアという台座に星を狙う姿は、まるで大砲。ジージーと音を立てながら回転し、星を狙い動くロボットの。

早速、お言葉に甘えて、のぞかせてもらう。まずは明るいう月。クレーターが王冠のように立体的に見える。「アルデバランが入りました」との声に隣の物干しざおのように長い望遠鏡を覗かせてもらう。冬の空にひととき目立つ星だ。「人工衛星!」と指さす空を見上げ、ゆっくりと星間を抜けていく軌跡を追う。観察は尽きない。

川崎天文同好会は創立65周年という歴史あるアマチュア天文愛好者の集まりだ。毎月1回、星に興味を持つ人たちに観察の機会を提供している。138億年前の誕生以来、膨張し続ける宇宙の心強い案内人である。



川崎天文同好会

発足：1953年4月28日
事務局：川崎市宮前区土橋
1-2-5 (松岡方)
年会費：一般会員 3000円、満27歳未満の学生及び高校生1000円
<https://www.kawaten.com/>

★西長沢観望会のお知らせ
場所：川崎市宮前区潮見台
開催予定：2月16日(土)・3月16日(土)

第10回 麻生市民交流館やまゆり 区民講師公開講座

4 月

受講受付:3月1日より

講師

6日(土)	14~16時	ミュージカルって何だ	西村 勝行
7日(日)	14~16時	楽しい歌舞伎の音楽(三味線や太鼓)	高橋 香衣
13日(土)	14~16時	眠っているフルーツで長息き(?)	井上 昭史
21日(日)	14~16時	童謡・唱歌・流行歌の背後にあるもの	佐藤 晴夫
22日(月)	14~16時	経絡ヨガ	藤原 飛鳥

5 月

受講受付:4月1日より

11日(土)	14~16時	「ウルトラマン」の誕生	白石 雅彦
18日(土)	10~12時	あなたは知っていますか? 男の子って・女の子って	大川 壽子
19日(日)	10~12時	お口の機能から身体の健康を考える	堤 一樹
30日(木)	10~12時	外国人から見た日本人のここがすごい	アモアベン ヤオオフエイ

6 月

受講受付:5月1日より

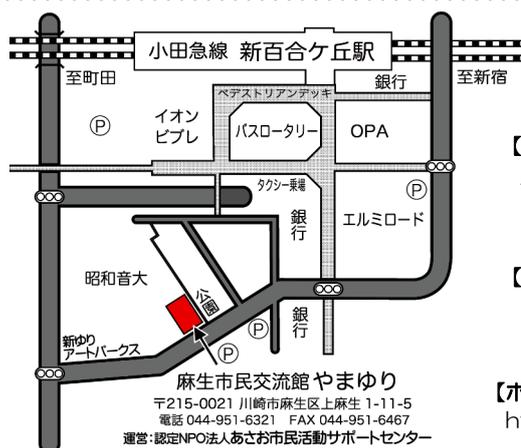
2日(日)	14~16時	どう変える、どう変わる 日本の大学教育	菊池 純男
8日(土)	14~16時	笑いヨガを楽しむ	渋谷 美恵子
15日(土)	14~16時	ストレス・マネジメント	田中 元介
20日(木)	14~16時	花と暮らす認知症予防講座	鈴木 佐保子
23日(日)	14~16時	地球温暖化防止に私たちができることは	三好 一義

詳細は、各講座のチラシをご参照ください。開講月の1か月前までに公示されます。

- ★受付：開講月の前月1日から。先着順（定員になり次第締め切ります）
- ★申込：チラシ裏面の申込書に記入して「やまゆり」窓口へご持参いただくか、ファックス（044-951-6467）で提出してください。

主催 認定NPO法人 あさお市民活動サポートセンター

問合せ ☎951-6321 Fax.951-6467



【開館日】
月曜～金曜 9時30分～17時
※平日の夜間、土曜・日曜、
祝日も予約すれば利用可。
休館：年末年始、施設点検日

【アクセス】
小田急線「新百合ヶ丘駅」
南口から徒歩4分

【ホームページ】
<http://yamayuri.net.jp/>

あさお区民記者

区民による、区民のための
情報発信を目的に活動。

区民記者は「やまゆりニュース」掲載記事の企画構成・
取材・執筆(撮影)を担当しています。

過去の取材記事はホームページに掲載しています。

<http://www.asao-ku.net/yamayuri-news.html>

●区民記者&サポートメンバー募集中!
詳しくは info@asao-ku.netに
お気軽にお問い合わせください